



たまだれ
No.71

玉垂

Tamadale

特集

春に祈る 節分祭の斎行 田遊祭・田遊神事の斎行
—その歴史・その意義・その未来—

国を守り伝えるということ／参議院議員 有村治子
元陸上幕僚長 岩田清文
神道政治連盟会長 打田文博
小國神社宮司

特別寄稿文

～今、世界に求められる日本の精神性～／天額株式会社代表取締役医師
プラネタリーヘルス・イニシアティブ代表理事 桐村里紗

トピックス

令和7年乙巳 特別御朱印頒布のご案内 桜詣のご案内

岡部 聡 監督作「Continuations」が

アメリカ合衆国セバストポルドキュメンタリー映画祭最優秀短編部門にノミネート!!

遠江国一宮

小國神社のご由緒

創

始は神代と伝えられ、延宝八年（一六八〇）の社記によると、人皇二十九代欽明天皇の御代十六年（五五五）二月十八日に本宮山峯（本宮山）に御神霊が顕れた後、勅使が遣わされ、山麓約六キロの現在地に社殿を造営し、正一位の神階を授けられました。

それ以来、年々御神前に幣帛を捧げられ文武天皇大宝元年（七〇一）春十八日に勅使奉幣の際、特に十二段舞楽を奉奏されました。延喜七年（九〇七）延喜式内社に列せられ、中世には徳川家康をはじめとする武將など、朝野の崇敬が極めて篤く近世に至っております。

元龜三年（一五七二）の戦では、家康公は御神霊を別所に遷し、願文と三条小鍛冶宗近作の太刀を奉り戦勝を祈願した後、社殿を全て焼失しました。

天正三年（一五七五）に勝利を得た家康公は、御本殿の造営、拝殿・楼門を再建され、更に社領五九〇石の朱印を奉り、以降世々の徳川將軍家より、社殿の改造・修復料を寄進されました。

明治六年六月十三日に国幣小社に列せられ、明治十五年三月に再度の火災により御本殿以下建造物など消失しましたが、明治十九年に復興され現在に至っております。平成十七年には御鎮座一四五〇年祭が斎行され、『遠江国の一宮さま』として崇敬され広く親しまれております。

また、平成十五年九月十四日には、秋篠宮文仁親王殿下同妃紀子殿下のご親拝を賜り、平成十八年十一月八日には、神宮祭主池田厚子様のご参拝、平成二十九年四月二十九日には、高円宮妃久子殿下のご親拝を賜りました。

令和六年十月二十五日には、初の海外分祠シラチャ小國神社がタイ王国にご鎮座となりました。

小國神社と

徳川家康公の知られざる歴史・秘話も…
是非ご覧ください



小國神社のはじまりから
現代までの壮大な物語

小國神社ものがたり
ご祭神とともに



公式ウェブサイト特設ページで
スペシャルムービー公開中

小國神社ものがたり

検索



日本の神様の物語は
『日本の良き国柄』、『伝統』、『文化』を
今に伝えています。

この物語は、静岡市在住の絵本・造形作家のたたらなおきさんよりご奉納いただいた全長約七メートルの絵物語をもとに作成したアニメーションです。神代より語り継がれてきたお話には、

日本人の「豊かで優しい和の心」の原点が描かれています。神々の営みの中から「正しい道筋をたてて生きてゆくことの大切さ」や、「思いやりのこころ」を学びましょう。



春の訪れを告げる門前の河津桜（3月10日撮影）

春に思う

本年のお正月は、お天気にも恵まれ穏やかな年明けを迎えました。近年の傾向と致しましては、例年一月二十日より二月三日に実施している「厄除大祭」の期間に併せて初詣をされる方が多く、お正月の賑わいが以前よりも長く続いている状況です。

他方、若い方を中心に「新しい信仰の形」が定着しているようです。いわゆる、「暦」を生活の中に活かし、吉日を選日してご参拝をされる方々が増えています。当社でも、従前より「六曜」や「戌の日」などを意識しつつ、参拝者の増減がある程度予想をしておりましたが、それとは別に「一粒万倍日」や「天赦日」など、今まではあまり知られていなかった「吉日」に多くの参拝者が訪れるようになりました。前者は、我が国独自の選日法により選日される吉日で、後者は大陸より日本に伝わり、「陰陽五行説」と「十干十二支」の思想に由来するものと考えられています。本年三月十日は、この「二つの吉日」が重なるタイミングであったことから、予想を上回るご参拝の皆様が訪れたとの報告を受けました。内外の良きものを取り入れ、ハイブリッドな運用を得意とする我が国ならではの気質であると思います。さらには、インターネット・SNSの普及もあり、より良いとされる参拝日を求め、急速な広がりを見せているようです。いずれに致しましても、「節目」を大切にして日々を送ることは、心に「潤い」をもたらし生活に繋がることと存じます。

ところで、現在の我が国の内外を巡る情勢は「国家興亡の岐路」というべき状況です。虎視眈々と台湾や沖縄県石垣市の尖閣諸島を狙う中国共産党、ロシアや北朝鮮への対応も待ったなしです。特に对中国に関する台湾の危機は「隣の火事」ではありません。台湾侵略と尖閣侵略は地政学的にも同時に起こる可能性が極めて高いものです。安全保障には様々な視点がありますが、「力による現状変更に対する国防」は喫緊の課題です。特に我が国の脅威となる国々には、軍事的抑止力と経済的安全保障の二本立てで覇権的野心を挫き、有事を回避してゆくことが大切です。一方で、令和四年に実施された内閣府による自衛隊への意識調査では、九十・八パーセントが「良い印象」と答えています。現状、国防・防災・防疫など様々な有事に対応している自衛隊に対し、憲法上明記されずにいるということは、あまりにもご都合主義ではないかと思えます。一刻も早く国会発議の原案を示し、国民投票を実施する方向へ進めてもらいたいと思います。七月には、参議院選挙も実施されます。私たち国民は、国の行く末に思いを致し、曇りなき眼で現実を俯瞰していかねばなりません。

いよいよ四月は御例祭を迎えます。職員一同、神慮を畏み、国の安寧と世界の平和を祈り社務に精進して参ります。各位のご壮健を心よりお祈り申し上げます。

令和七年三月二十日

特集

春に祈る 節分祭の斎行

春に祈る 節分祭の斎行

令和七年二月二日(日)、節分祭を執り行いました。色とりどりの鮮やかな装束に身を包んだ年男役、年女役九十七名の皆様にご奉仕いただき、遠くエストニア共和国よりKaivi Järvela様も奉仕されるなど、賑わいの一日となりました。

今年の特別奉仕者として、浜松市出身の俳優・寛利夫様、女優の天玲美音様、袋井市出身の歌手・松原健之様、元大相撲大関の把瑠都様、ラジオパーソナリティのDJ Ron様にご奉仕いただきました。特別奉仕者が舞殿に登場すると、大きな歓声と拍手が沸き起こり、太鼓の音とともに豆撒きが始まりました。福豆やお菓子が撒かれるたび、参拝者たちは手を伸ばし、笑顔で受け取られていました。

『節分』とは？

節分は、立春、立夏、立秋、立冬の前日を指し、本来は年四回あります。現在では特に、立春の前日を指す場合が多くなりました。これは、旧暦を使用していた時代には節分が年初めの前日、つまり大晦日とされ、冬から春に移る時節であることから、特別な意味を持つようになりました。

節分の行事は、本来宮中で季節の変わり目に行なわれた年中行事で、これに大陸から伝わった「追儼・鬼遣らい」の神事が加わり、平安時代から行なわれてきました。時代が下ると次第に民間に伝わり現在に至ります。節分当日の夕暮れ、ヒイラギやイワシの頭を家の入り口などに挿しておいたり、豆撒きをしたりするようになりました。このようにしておくと、鬼(流行病や災難をもたらす邪鬼)がヒイラギの葉のトゲに刺さり、イワシの悪臭に驚き逃げていくと考えられていました。これは、季節の変わり目には邪気(鬼)が生じると考えられており、それらが家に侵入しないように追い払うためです。

また、豆を撒く際のかけ声は通常「鬼は外、福は内」ですが地域や神社によって様々です。鬼を祭神または神の使いとしている神社などは「鬼は外」ではなく「鬼は内」としているところもあります。

“伝統行事”を楽しむ



宝槌打振神事奉仕中の把瑠都様 ▲

追儼神事 柳の鞭で拝殿の長押を叩き厄を祓います ▲

色とりどりの大紋(装束)に身を包む奉仕者の皆様 ▲

▲特別奉仕者 寛利夫様(右上)、松原健之様(右下)、
把瑠都様(左上)、DJ Roc様(左中央)天玲美音様(左下)



▲賑わいの豆撒き風景

▲天玲美音様からは
ガーベラの花束を、
松原健之様からは
CD音源をご奉納
いただきました。



▲鳴弦式 邪気(鬼)を鎮めます

毎日の生活に“豊かさ”と“潤い”を

私たちに身近な節分行事を始めとする伝統行事は、神々を敬う心と四季折々の自然や風土によって育まれてきました。そこには祖先の感性や暮らしの知恵が込められています。



▲真剣な表情でご神前に向かう



▲拝殿での豆撒き神事の様子



▲豊米舞奉奏



▲宮司祝詞奏上

豆撒き神事 ～なぜ豆を撒くのでしょうか～

豆を撒く意味は、豆には穀物の穀霊が宿り生命の源の象徴と考えられ、鬼に豆をぶつけることで邪気を祓い、一年の無病息災を願う意味合いもあります。

家庭においては、夕方家のドアや窓を開けて家の主人が豆を撒き家族の幸せを祈ります。豆を自分の年齢より一つ多く食べると、身体が丈夫になり、風邪をひかないとの言い伝えもあります。

幸せを祈るころ

立春が過ぎると、まだまだ冷たい風が空を渡りますが、陽射しは春めいてきます。山野の草木は、静かにその芽を育みます。農耕の知らせを運ぶ、山桜などの開花はこの頃を過ぎると一気に進みます。このような神々が運ぶ悠久の天地の流れにあわせて、人間もまた春を迎える支度に取り掛かります。

なぜ、日本人は数々の伝統行事を大切に語り伝えてきたのでしょうか。それは、季節の恵みへの『感謝』と、日々無事に生活できることへの『喜び』を確認する機会として位置付けてきたからに違いありません。

私たちは、伝統行事を楽しみながら生活の中に取り入れ、祖先のところに触れ、日々の生活に『豊かさ』と『潤い』を与えてゆきたいものです。



▲福を呼び込む福笑い神事



▲豆撒き神事 爽やかにご奉仕いただきました



▲エストニアからご奉仕のKaivi Järvelaさん

古来「遊び」は「神事」だった

令和七年一月三日田遊祭・田遊神事の斎行

田遊祭・田遊神事とは？

小國神社の田遊神事の創始は鎌倉時代中期と伝えられています。当社が所蔵している最も古い記録、延宝八年（西暦一六八九年）の記録には、旧暦正月三日の夜、ご神前で執り行われたことが記されています。

「田遊神事」とは、年の始めに豊作を祈願して『田作り』から『刈り入れ』までの稲作過程を模倣的に演じ、田の神を活気づけ秋の豊かな稔りを祈る神事芸能です。十二段の演目で構成され、旧社家により奉仕されます。小國神社の田遊神事の大きな特徴は、古い形を保ったまま今日まで伝承されている点です。言霊の霊力による予祝賛美（よしゆくさんび）を中心とした祈りが捧げられます。

昭和三十五年四月十五日に「静岡県無形文化財」に指定され、平成十九年三月七日に文化庁より「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択され、現在にいたります。

「遊び」の語義と信仰とその意義

現代の私たちにとって「遊び」が「神事」のことであるとすんなり受け止めにくいかもしれません。

「遊び」の用例を辿ると、「神楽」（かぐら）が神々をもてなし、人と一体となる神事として「神遊び」（かみあそび）と称され、極めて古い時代から行われてきたことがわかります。

また、「山遊び」「海遊び」あるいは「磯遊び」という言葉も本来は、現代のレジャー的な感覚ではありませんでした。山や海に「遊び」に行くことは、長い冬を終えて春となり「狩り」や「漁」を行うことでした。『常陸国風土記』に記載されている地名起源説話にはこのようなものがあります。

—古老のいへらく、倭武の天皇、東の垂を巡りまさむとして 種々の珍しき味ひ、

今日の遊は朕と家后と各、



▲二番 畦塗り

田遊びで使われる諸具

大太鼓、鼓、小桶・扇子・柳・種
籾・牛王・柳の枝を使います。

大太鼓は田に見立てられ、柳の葉は肥草をあらわします。牛王は当社ではゴオウでなくギウオウと呼びならわしています。

牛王は、白紙を五角形に折り、一二〇センチほどの青竹に挟み、麻紐を結びつけます。麻紐は蝶結びにして牛の耳をかたどります。これに「卯・一宮牛王」の文字を刷ります。牛王は牛を形象化したものですが一方で、神さまの宿る依り代としての幣束の意味をもつといわれています。他に、これを模した二〇センチほどの小形の牛王があり、演目の最後に縁起物して福餅とともに撒きます。

柳は素鍬と鳥追いの時に用いられ、鍬や鳥追い棒をあらわします。小國神社では、追難祭や節分祭にも柳の枝が使われます。



牛王札▲



七番 種蒔き▲

野と海とに就きて、 同に祥福を争へり

●奉納演目●

- 一、素 鍬（しろくわ）
- 二、蛙 塗 り（あぜぬり）
- 三、代 掻 き牛（しろかきうし）
- 四、苗 草 寄 せ（なえくさよせ）
- 五、苗 草 蒔 き（なえくさまき）
- 六、苗 草 踏 み（なえくさふみ）
- 七、種 蒔 き（たねまき）
- 八、祝 詞（のりと）
- 九、苗 讃 め（なえほめ）
- 十、世などよう（よなどよう）
- 十一、鳥 追 い（とりおい）
- 十二、歌おろし（うたおろし）

▲六番 苗草踏み



遊漁（うおあそび）の利多し 今日（きょう）の遊（あそび）は朕（わが）と家后（けご）と各（おのづから） 野（の）と海（うみ）とに就きて、同に祥福（さちふく）を争へり

野（の）の狩（かり）りも海（うみ）の漁（り）も「今日の遊」と称（な）していることから、私たちの祖先は「遊び」を通じて、神々が遊ぶ季節の恵みを身体に取り込み、自らの靈魂に新たな活力をいただけてきました。つまり、「遊び」の語義には、私たち日本人の信仰の根源があらわれているといえます。

自然と共に生き、その恩恵を受け、そこに神々を見いだしてきた私たちの祖先は、「遊び」を大切な生活の節目として強く意識し、農業や漁業を開始するにあたり、一層の豊かな稔りや恵みを祈る神聖な日として位置づけてきました。

このように「遊び」の語義には、神々への「感謝」と真摯な「祈り」が込められています。

自然の中で、天地の恩恵をうけ、神々と共に生きていくことは、我が国の美しい精神文化です。

田遊神事 ～伝統文化のこれから～

当社の田遊祭、田遊神事は「無形の民俗文化財」として指定されています。この「無形」であるということには、大きな意義があります。いわゆる、国宝などに代表される「有形」の文化財などは震災などがあれば全て無くなってしまふことがほとんどです。

しかしながら、「無形」のものはそうではありません。神社と神々を敬う地域の人々の連綿とした努力による精神の継承がある限り、ゼロになることはありません。たとえ、大規模な災害などで途切れたことがあったとしても、何度でも復活し、続けていくことが可能です。これは本当に素晴らしい文化であるとともに我が国の大きな特徴であり、強みともいえます。

本年は大阪・関西万博が開催されることもあり、日本を訪れる外国人観光客数は過去最高を更新すると予測されています。また近年では、日本各地で伝統的な祭礼や神事、伝統工芸や地域文化に触れられる体験型観光への関心も世界的に高まっています。

このような時代背景のなか、私たちは祖先が神々の恵みに感謝し、護り伝えてきた貴重な神事祭礼文化を深く見つめ直し、諸外国の人々にも、それらが内包する麗しい精神性と日本の魅力を正しく伝えていくことが今後ますます求められていくでしょう。



▲神事奉納後の「福餅撒き」



▲十二番 歌おろし



▲八番 祝詞



鼎談後、和やかに記念撮影▲

特別鼎談

国を守り伝えるということ

鼎談 参議院議員 ^{あり むら はる こ} 有村治子

元 陸上幕僚長 ^{いわ た きよ ふみ} 岩田清文

神道政治連盟会長 ^{うち だ ふみ ひろ} 打田文博
小国神社宮司

現在もロシアによるウクライナ侵攻や中東情勢、海洋覇権を狙う中国共産党による台湾有事への懸念など常に国際状況は予断を許しません。終戦八十年・昭和一〇〇年の節目を迎えた令和七年。

国を守るということ、我が国の歴史と伝統を継承し、次世代へバトンを繋いでいくことを、本気で考えていかなければならない時代に突入しています。本特集では、昨年末に「神社新報社」でも掲載された三者の鼎談を一部抜粋・引用して掲載いたします。

現在、国政を担い多くの成果を挙げ、こられた有村治子議員（四期目）の、しっかりとした『国家観』と地に足のついた『生活観』をお伝えする鼎談の様子の一端をお届けいたします。

英霊に感謝の誠を捧げ 国防意識と平和概念を育む

〈有村〉日本人は、敗戦によって国家について考える機会を奪われた民族だと思っっています。戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えるだけでなく、やはり国のために戦われた方々に敬意を持つことが大切だとつくづく感じました。そして戦争反対だと言うのなら、例えば医者が病気について研究するように、どんなときに戦争が起こるのかを徹底的に研究すべきでしょう。戦争反対と



▲鋭い指摘をする岩田清文元陸上幕僚長

言っているだけで何もしないのは、むしろ平和を脅かすことになります。

〈打田〉確かに日本は戦争に敗れ、多くの尊い命が失われて、生き残った兵士のなかには肩身の狭い思いをした人もいます。ただ、みんな祖国のために命をかけて戦い、生き残った人も戦後復興に一身を捧げました。その結果として現在のわが国の平和と繁栄があることを忘れてはいけません。

〈有村〉英霊に敬意と感謝を表するのは、平和を維持していく上でも極めて重要です。そういう意味では、海上自衛隊の御出身で、命をかけて日本を守られた英霊と同じ覚悟を自らに課してこられた大塚海夫氏が靖国神社の宮司に就任されたことの意義は大きいと感じていますし、令和六年八月十五日に木原稔防衛大臣が当時靖国神社に参拝されたことも重要な前進です。たださうしたなかで、一月に自衛官の靖国神

社参拝を一部マスコミが次官通達に違反するとして大きく取り上げたのはとても残念でした。

この件に関しては、三月の予算委員会ですら「制服着用参拝に何か課題があるか」と質問しました。それに対して防衛省が、自衛官には常時制服着用義務があるため、制服を着用していること、によって、部隊参拝を慎むべき旨の次官通達に違反するものではないと答弁しています。



建国記念の日▲
奉祝パレードに参加



優しい眼差しの有村治子議員▲

“平和”を維持していく上でも極めて重要です。



歴史の評価に耐えうる政治を志し、実践

〈岩田〉私も現役だったら躊躇しかねませんから、国会で明確な答弁を引き出していたいたのは本当にありがたいことです。

国を守ること、 伝統・文化を護持すること

〈打田〉歴史や伝統を忘れた民族は滅びると言われますから、やはり国柄を守ることが一番大切だと思います。では、何が日本を日本たらしめているかといえば、それはやはり皇室の御存在で、日本文化の原点は皇室にある。皇室の伝統を守ることが、国柄を守る、わが国を守るという意味で、もっとも大切なことといえるでしょう。

〈有村〉憲法第一条に書かれている「象徴」というのは、「それを見れば実態がわかる」ということです。から、天皇陛下のなさりようが日本そのもの

を象徴しています。敬神崇祖や五穀豊穡の祈り、被災地へのお見舞い、戦歿者慰霊などを含め、日本のあるべき姿や精神性を凝縮する形で体現している。そうした皇室とわが国、国民との関係を平易な言葉で伝えていく必要があるだろうと思います。

〈打田〉そうしたなかで差し迫っているのが安全保障の問題で、最低限、自衛隊違憲論を払拭することが必要でしょう。憲法改正には国民投票が必要ですが、「自衛隊・防衛問題に関する世論調査」では、自衛隊に「良い印象を持っている」という人の割合が九〇%を超えています。現在の国際情勢についての現状と課題を共有しながら、自衛隊のあり方も考えていく、そうしたなかで日本の伝統・文化を守っていければいいと思っています。

〈有村〉国の象徴たる天皇や皇室を守ることはもちろん、国防のため、また



我が国の護るべき国柄について述べる宮司

国家の尊厳を守るための憲法改正も大切です。し、その前提として戦歿者慰霊も重要です。それから、地域や家庭の絆など先人たちが大切にしてきたことを守っていく。国会議員としてそうしたことを力を尽くしていきたいと考えていますので、岩田先生、打田会長をはじめ神界の同志の皆さまに引き続き御指導いただければありがたいです。



▲在職20年感謝の集いにて
命の重み・家族や地域の絆
・国家の尊厳を守る有村議員



▲少子化対策・
初代女性活躍担当大臣
大臣会見



▲両院議員総会長として
(令和7年現在)

プロフィール

参議院議員
比例代表（全国区）選出
ありむら はるこ
有村 治子



昭和45年生。平成13年、参議院選挙 比例代表（全国区）にて神道政治連盟から推薦を受け初当選。現在4期目。神道政治連盟国会議員懇談会 副幹事長。文部科学大臣政務官、自民党女性局長等を歴任。安倍内閣にて初代女性活躍担当大臣、国務大臣（少子化対策・行政改革等）に就任。現在は、参議院情報監視審査会長、自民党両院議員総会長、自民党憲法改正実現本部 副本部長、等を務める。
「神道の精神を国政に、日本の心を政策に」という想いで、命の重み・家族や地域の絆・国家の尊厳を守る活動をし、歴史の評価に耐えうる政治を志す。
令和7年（2025）夏の参議院選挙に向けて、神道政治連盟より推薦をされた。

社頭動静

次郎柿ワイン 完成奉告祭の斎行

◆森町の名産が全国へ

令和六年十二月十九日(木)、次郎柿ワイン推進協議会会長鈴木康之様、森町長太田康雄様を始め、約三十名がご参列のもと、次郎柿ワイン完成奉告祭を執り行いました。

祭典では、大神様へワインの完成を奉告し、感謝を捧げました。森町の特産品の一つ「次郎柿」を使用した次郎柿ワインは、令和六年で二十五周年を迎えたロングセラー商品です。甘さを控えた爽やかな味わいが特徴で、地元の方々を始め、全国にもファンがいると好評です。

ワインはことまち横丁でも販売していますので、ご参拝の折にはぜひお買い求めください。



▲ワインの完成を祝う鈴木康之の会長様
太田康雄町長様(右)



▲天と地を祓います

師 走大祓式・除夜祭の斎行

◆一年の締めくくり。祓い清めの

習わしで、清らかな気持ちで新年を迎えよう。令和六年十二月三十一日(火)大晦日の午後三時より、約八〇〇名の皆様のご参列のもと、師走大祓式を執り行いました。

師走大祓式は、半年間の罪穢を祓い清め、心も身体も清らかな心持ちで新年を迎えるための神事です。当社では、六月の晦日と大晦日に恒例式として執り行っています。

平安時代、宮中で行われてきた重要な祓いの儀式として行われ、後に民間に伝わり現在に至ります。

当日は、神職が大祓詞を奏上し、罪や穢れを遷した人形とご参列の皆様をお祓いし、清々しい元の姿へ立ち返りました。

引き続き、拝殿にて「除夜祭」を執り行い、大神様のご加護のもと一年を無事に過ごせたことに感謝し、新年の無事平穏をお祈りいたしました。

小 國神社氏子青年会 奉仕活動のご報告

◆神社と地域の発展に寄与します!!

小國神社氏子青年会では、様々な奉仕活動を展開いたしました。年末には注連縄作成と掛け替え奉仕を実施、正月には「小國神社開運だるま」の授与奉仕を実施いたしました。

一月十九日(日)には、どんど焼き祭での「おはたき餅」授与奉仕、二月十一日(火)には、紀元祭・建国記念の日奉祝パレードや餅つき奉仕を実施しました。これからも氏子青年会は、神社と地域の発展そして、我が国の美しい伝統文化の継承に寄与できるよう、奉仕活動を続けてまいります。



▲伝統行事を学び奉仕する旭が丘中学校生徒とALT教員

鉄 製干支作品のご奉納

◆すっかりお馴染みのフォトスポットに鈴木三男様より本年の干支にちなんだ「乙巳年」鉄製作品をご奉納いただきました。

蛇は、「成長」「再生」「金運」の象徴とされる縁起の良い動物です。鈴木様の作品は、新春恒例の縁起物として、今年も多くの方々が写真撮影を楽しまれていました。

鈴木様は、「打つては戻しを繰り返して、ひと目で蛇と分かるような形にするのに苦労しました。制作に二ヶ月ほどかかりましたが、蛇の抜け殻を参考に模様のパターンなどにこだわって、想いに忠実に、より本物に近づけるよう目指しました。」と語られました。鈴木様のご厚志に深く感謝申し上げます。



▲製作者の鈴木三男様



▲美しい所作で大的を狙う地射手

御弓始祭の斎行

◆疫病鎮送を祈り、矢を放つ

令和七年一月十七日(金)、御弓始祭を執り行いました。開運招福や五穀豊穡さらには疫病鎮送を祈願する祭典です。当日は、拜殿で宮司が祝詞奏上をした後、内庭で御弓始神事を執り行い、烏帽子と直垂を着付けた「地射手」四名が、日置流大式的作法でご奉仕いたしました。一挙一動が繊細で勇壮な所作は、日置流の大きな特徴です。

約二十八メートル先の大的を狙って射られた矢は魔除けや開運招福の縁起物として伝わり、矢が的中すると拝観者が我先にと、福矢を求めていました。

厄除大祭の斎行

◆大難を小難に、小難を無難に

令和七年一月二十日(月)から二月三日(月)までの期間、厄除大祭を執り行いました。人生の節目の年にあたる厄年は、健康、仕事、私生活などあらゆる面で転機を迎えると共に様々な難を招きやすい年頃といわれます。誰もが、健康で充実した人生を無事送りたいと言う気持ちは、昔も今も変わりません。当社では、新たな節目に向けて心を整えようと、全国から多くの祈願者が厄除け祈禱を受けに來られます。

当社の厄除大祭は県西部でも風物詩となり、期間中には静岡放送や静岡朝日テレビでも報道され、厄除祈願の様子や祈願者の声が広く紹介されました。

ご夫婦揃って厄年を迎えられたご家族は、お子様の初宮参りと併せてご祈願に訪れ、「何事もなくみんな健康に過ごせればと思っています。」と語られました。



引用元：YouTubeチャンネル SBSNews6・静岡朝日テレビニュース

静岡放送・静岡朝日テレビニュースより▲

め 小國神社が紹介されました

◆厄年の姉を思い、厄除祈願を!!

この度、十代のファッションアイコンとしてSNS・Youtubeなどを中心に多くのファンやフォロワーを獲得されている『めるぶち』メンバーのひーなさんとひよりさん姉妹の『ひーなチャンネル』で、姉の厄年を心配した妹が休日プランとして小國神社で厄除祈願を受ける様子が公開されました。

お二人は幼い頃から当社に参拝され、敬神の念が篤く、可愛らしくもしっかりとした十代の女性たちです。このような動画をきっかけに、若い世代の皆様が人生儀礼に親しみ、我が国の麗しい習慣や伝統を楽しみながら生活に取り入れる機会となれば幸いです。



▲「めるぶち」メンバー ひーなさん・ひよりさん姉妹



「めるぶち」ひーなチャンネル

紀 元祭の斎行

◆建国の歴史に思いを致し、

後世へ正しくつなぐ

令和七年二月十一日(火)、森町長太田康雄様、静岡県議会議員伊藤和子様、伊藤健一様を始めとする五十七名ご参列のもと、紀元祭を執り行いました。

本年は、初代神武天皇が橿原宮でご即位され、日本国を建国されてから二六八五年を迎えます。

早朝、建国記念の日奉祝パレードを実施し、約二三〇名の子どもたちや保護者らが国旗小旗を手に日本の誕生日をお祝いしながら元氣よく氏子区内を行進しました。祭典後は記念式典を執り行い、餅つき大会や甘酒の無料授与で境内は賑わいました。SBS静岡放送の記者取材もあり、祭典や賑やかな式典の様子が報道されました。

天皇陛下を戴く我が国は、建国の起源を神話の世界にまで遡ることができる類まれなる国家です。建国記念の日が、家族皆で日本の歴史を振り返る一日になれば幸いです。



▲高らかに万歳三唱をする参列者



▲浅羽一芳名誉会長(左)ゴ・ヴ・フォン・ゴックさん(中央) 峰野 勇事務局長(右)

日 越友好の絆、ベトナム人留学生のご参拝

◆日本を知る最良の場所は「神社」です

令和七年一月二十三日(木)、袋井ベトナム友好協会(FVFA)の浅羽一芳名誉会長・同事務局長の峰野勇様のアテンドにより、ベトナム人大学生のゴ・ヴ・フォン・ゴックさんがご参拝されました。

ゴックさんは、フエ外国語大学で日本語・日本文化を学ばれ、袋井・フエ友好スピーチコンテストで優勝されるなど、日本文化を幅広く学ばれています。当日は神道講話と正式参拝を実施し、日本の伝統に直接触れることができ感激していると述べられました。当社では引き続き国際親善に寄与してまいります。

祈 年祭の斎行

◆豊作を祈る「としごいのまつり」

令和七年二月十八日(火)、祈年祭を執り行いました。

祈年祭は、五穀豊穡と諸産業の繁栄を祈願するもので、十一月に行われる収穫感謝の「新嘗祭」と一体の祭祀です。四月に執り行われる例祭と併せて「三大祭」と呼ばれ、当社において最も重要な祭典の一つです。

祈年祭は「としごいのまつり」とも言われ、その歴史は律令制以前の春の予祝儀礼にまで遡るとされています。「とし」は稲の魂、「ごい」は祈りを意味します。

祭典では、稲をはじめとする穀物の豊かな実りと、地域社会や国家の繁栄、ご皇室の安泰も併せて祈願します。

また、本年も松尾貞子様より椎茸やキャベツなど、多くの農産物をご奉納いただき、ご神前にお供えして斎行いたしました。松尾様のご厚志に深く感謝申し上げます。



▲修祓の後、拝殿へ参進する 宮司以下祭員



▲岐阜護國神社宮司 杉本純一様(中央)のご参拝

岐 阜護國神社宮司杉本純一様 宮司就任奉告参拝

◆当社の旧職員が就任となりました

令和七年二月二十一日(金)、岐阜護國神社宮司杉本純一様とご令室様のご参拝になりました。

杉本宮司は、当社の職員として、平成十三年四月に出仕として奉職したのち、平成十九年五月まで権禰宜としてご奉仕をされ、神社の発展にも大きく貢献されました。岐阜護國神社に奉職後は同神社禰宜を拝命され、岐阜県神道振興会会長を務められた後、令和七年一月二十日付で同神社宮司にご就任されました。

このたびのご就任をお祝い申し上げますとともに、ご社頭のご隆昌と、杉本宮司の益々のご活躍をお祈り申し上げます。



▲大神様への感謝と、1年の無事平穏を祈り、多くの参拝者が訪れました (1月1日)



▲新春初祈祷祭 午前零時齋行
今年も多くの皆様が参列となりました (1月1日)



▲氏内外の学生助勤者も多数ご奉仕いただきました (1月1日)



▲御弓始祭
美しい所作で的を狙います (1月17日)



▲春の訪れを告げるヒヨドリ (1月17日)

令和七年 新春 点描

令和7年の新春の諸儀式は
お陰をもちまして
滞りなく齋行することができました。
多くの皆様にご参拝になり、
賑わいの新春となりました。
新春点描では、祭事・行事を中心に
ご神域の様子などをお伝えいたします。
それぞれの表情などにも注目して
ご覧いただければ幸いです。



▲手新始祭 墨打ちの所作
古式に則った厳粛な儀式です (1月11日)



▲初甲子祭
1年で初甲子の日のみ、御垣内の中で
参拝ができます (2月24日)



▲どんど焼祭の齋行
どんど焼きの火で焼いたお餅を食べると
健康に1年間過ごせると言われています (1月19日)



▲祈年祭
宮司祝詞奏上 (2月18日)



▲伊藤忠彦復興大臣の新春参拝 (2月9日)

『一社三山もみじめぐり御朱印帳』

頒布のご案内

もみじが繋ぐ聖地巡拝の旅路。御朱印を集めて特別な屏風に！

令和六年十一月一日より『遠州・三河一社三山もみじめぐり御朱印帳』を頒布しております。

『一社三山もみじめぐり』とは、古くより交流が盛んであった遠州・三河地域の『小國神社』『普門寺』『尊永寺』『龍潭寺』の四社寺を参拝・散策していただき、現代の人々が古人へ心を重ね自然への感謝と、各社寺のご神徳・ご加護をお受けしていただく聖地巡拝の旅路です。

令和四年十月に実施した、普門寺でお祀りされている『大黒天像』を小國神社で一般公開をした『出開帳』など様々な広報活動や信仰の醸成をおこなってまいりました。

この度、日常生活の中でも各社寺巡拝の記憶を末永く心に留めていただきたいの思いから、巡拝後にご自宅でお祀りすることが出来る『屏風型の御朱印帳』を奉製いたしました。

御朱印を押印する面には各社寺の特徴的な縁起物や社紋・神紋をあしらひ、御朱印の個性と各社寺イメージが結びつくようなデザインを考えました。

ご自宅にお祀りいただく際は、玄関や床の間・お気に入りの場所などで粗末にならないところに丁寧に祀りください。



初穂料：二、二〇〇円



和のこころを育む一社三山もみじめぐり御朱印帳

一社三山もみじめぐり公式HP
<https://www.momijimeguri.com>



『乙巳』特別干支御朱印頒布のご案内

十二年かけて集める十二支と十二段舞楽

昨年に引き続き、「古式十二段舞楽」を十二支とともに描いた『特別干支御朱印』を奉製いたしました。

この御朱印は、毎年異なる干支と舞楽演目を組み合わせ、十二年かけて全て集めることで、十二段舞楽の全演目を蒐集することが出来る特別なものです。

国指定重要無形民俗文化財にも指定されている当社の十二段舞楽は、一三〇〇年以上の歴史を持ち、毎年四月の例祭で大神様への真心をもって奉納されます。

特別干支御朱印には、日本画家・鳥居禮氏による美しい絵画と、作家・秋場美緒氏によるその年の干支にちなんだ意匠が水墨画で施されています。



特別干支御朱印 初穂料：800円



二番「色香」

作家紹介



作家 秋場美緒

長年にわたり小國神社での祭祀舞や社頭奉仕、さらには授与品発案にも携わる。二〇一九年に兵庫県たつの市、二〇二三年に岡山県岡山市で個展を開催。小國神社においても二〇二二年に個展を開催した。開運招福を祈る蛇と当社の社紋が描かれた、心落ち着く手描きの水墨画作品。

日本画家 鳥居禮

東京生まれ。(一九五二―二〇一八) 日本画家。二〇〇七年ウクライナ国立美術館、二〇一五年エストニア国立美術館、二〇一六年ベルリン国立アジア美術館にて展覧会を開催する。大円寺、伊勢神宮せんぐう館、寒川神社、伊勢山皇大神宮他に神道を描いた日本画の作品を奉納する。小國神社においても二〇一一年に個展「霊峰富士と桜展」を開催し、好評を博した。

神々とお祭り

私たちの祖先は、かみまつ神祭りのなかから生き方を学び信仰の礎としてきました。

また、古くからの伝承や歴史をふまえ、豊かに暮らす知恵を生活のなかに生かし、神々と生活をともにしてきました。

毎年同じ時期にお祭りが繰り返し行なわれ、私たちはその中で信仰や文化をかたちづくってきました。

「お祭り」とは、

日本の伝統にもとづいて、神々に対する祖先のこころを今に伝える大切なかたちです。



神道的自然観とプラネタリーヘルス

～今、世界に求められる日本の精神性～

天籟株式会社代表取締役医師
プラネタリーヘルス・イニシアティブ代表理事

きりむらりさ
桐村里紗



神々と共に生きることは、
日本の美しい精神文化です ▲

私は医師として、人が当たり前に生きることで健康に幸せになる世界を目指してきました。残念ながら、今は、人が生きることでも人も社会も自然環境も病気になる時代です。

科学技術が発達しても、増え続けるがんや認知症、うつや子供の発達障害。混乱した社会の中で経済格差は埋まらず、自然環境の劣化が続いています。人の健康や幸せ、豊かさを求めています。活動が増えれば増えるほど、それと相関して自然環境が劣化し、それによって環境の中に生きている人は、結局、心身を病んでしまう。そんなジレンマがあります。

これではいけない！と、国際的に掲げられたのが、「プラネタリーヘルス（地球の健康）」です。人は地球の一



田んぼは生物多様性を豊かにする ▲

部であるという考えを前提に、人の健康や幸福だけでなく、人とながるコミュニティ、社会、経済、政治など人のつくる文明、そしてそれらとつながる生態系などの地球上すべてのシステムの健康を、立場を越え、分野を超えた連携によって実現させようという大目標です。人類社会を支える自然生態系を回復させるネイチャーポジティブ経済を基盤にしながら、人と自然を切り分け、自然を支配してきたこれまでから、人と自然を一体とし、共存共栄する世界への移行が求められています。プラネタリーヘルスの実現には、科学だけでなく伝統的な智慧に敬意を払い重んじることが提案されています。これを本質的に理解し、実現するため、私たちが古来から大切にしてきた



日本唯一の伝統技法「檜皮葺き」▲
小國神社の社殿は天然素材を使い自然な循環が営まれている

日本の神道的自然観や精神性を思い出してみたいのです。

私たちの先人は、古来から森羅万象に神性を見出し、自然の摂理を神として敬ってきました。あらゆる生命を育む山や水、岩や大木、そして湧水や川、土、太陽、火など、八百万の神は、あまねく私たちの身の回りに存在していました。あらゆる生き物やモノに宿る神は、私たちを生かし、ときに命を奪います。その大いなる働きに畏怖畏敬の念を持ち、その働きの中に生きる人も神としての自然と一体である尊い存在であることを先人たちは知っていました。

さまざまな生き物や水を育む奥山を禁足地として守り、その水の恵みに

日本の「神道の自然観」は、

人と自然を結び直す精神的柱となります。

よってカエルや渡り鳥などを育む田んぼに稲が実れば、土着の微生物によって酒を醸し、感謝と共に神に捧げる祭りを催し、人は神と一体となります。たくさんさんの生命が生まれて死んで、

何かの生命が別の生命を養っていき、変幻自在な神の働きが万物を結び合わせる里山で、人は日々の営みの中で、食べ物をいただくことで風土と一体となりながら、自然環境を豊かにする再生型の社会を築き上げてきたのです。そうした営みは、特に戦後に大加速

した開発によって失われつつありますが、今でも、全国の神社の奥には、私たちの生命を育む水をたたえ、生き物たちを育む鎮守の杜が神聖な場所として存在します。

新嘗祭には、天と地の恵みによって実った新穀を感謝と共に神に奉りますし、私たちの地元の鳥取では祝いごとには素戔鳴の伝承を元にした荒神神楽を奉納します。四季に応じた行事や伝統的な食文化、生活文化は、気候風土に根ざしたその土地の恵みによって私

たちを産土の神と結んでくれます。

神道は、私たちに万物との結びを教え、生きることが歓びであり、尊いことだと思ひ出させてくれます。「道」とは、この世界の真の理を心技体によって獲得すること。神道は、自然の摂理としての神を自らに身体化することだと捉えるとき、私たちは森羅万象全てを自分ごととし、人だけでなく地球全体の利を自らの歓びとする生き方ができるのではないのでしょうか。

日本の神道的自然観は、人と自然を結び直す精神的柱となります。歴史文化気候風土に根ざした日本のプラネタリーヘルスが各地に立ち現れ、世界に開かれることで、人と自然が共存共榮する未来が紡がれていくことを描いています。

結び直す精神的柱となります。歴史文化気候風土に根ざした日本のプラネタリーヘルスが各地に立ち現れ、世界に開かれることで、人と自然が共存共榮する未来が紡がれていくことを描いています。



▲素戔鳴をモチーフにした鳥取-島根のプラネタリーヘルス曼荼羅図



▲小國神社の新嘗祭 宮司祝詞奏上
神様に「五穀豊穡」の感謝を捧げます

プロフィール

天籟株式会社代表取締役医師
プラネタリーヘルス・イニシアティブ代表理事
東京大学大学院工学系研究科
バイオエンジニアリング専攻
道徳感情数理工学講座主宰兼共同研究員

桐村 里紗



著書紹介

医師として予防医療から終末期医療まで幅広く臨床経験を積んだのち、「プラネタリーヘルス」の推進による地域創生を行う。鳥取県「大山の流域」と東京「丸の内エリア」を拠点に都市とローカルの流域を結び、人と自然が融合する未来文明の萌芽を描く。著書に、『腸と森の「土」を育てる 微生物が健康にする人と環境』（光文社新書）他多数。



古代の森 小國神社 第23回 写真コンテスト

【応募サイズ】 ● 一般の部…カラープリント
ワイド4ツ切/4ツ切

● 学生の部…カラープリント
ワイド4ツ切/4ツ切/A4

【募集要項】 ● 一般の部…全年齢可

● 学生の部…学生のみ（応募用紙に学校名を記載してください）

【応募期間】 ● 令和7年6月1日～7月10日必着

【応募の決まり】 ● 過度なデジタル加工（合成）は選考外となります。

● 展示などの都合によりフチなしの作品に限りません。

【応募上の注意】 ● 応募作品は題名の後に鳥の名前をご記入ください。

● 特定の人物が被写体の場合は本人の承諾を得てから応募してください。

● 公表の承諾に関する問題は、主催者は一切の責任を負いません。

【撮影上の注意】 ● 参拝者や自然鑑賞の方に迷惑にならないようにしてください。

● 自然の樹木等の損傷をしないでください。

● 祭典（神事等）の妨げにならないようにしてください。

【審査】 ● 古代の森小國神社
写真コンテスト実行委員会

● 富士フィルム推薦フォトアドバイザー
令和7年8月下旬

【写真展】 ● 入賞者に直接通知いたします。
第23回 古代の森小國神社写真展
令和7年9月下旬（入場無料）

● 小國神社 参拝者休憩所2階 研修室

【募集規定】 ● 応募作品は、令和6年7月上旬から翌年6月下旬までに撮影したものに限りません。

● 作品の裏面に応募票（自作可）を必ず貼付してください。

● 応募作品の版権及び使用権は主催者に帰属し、データを提出していただきます。

● 応募作品は当社広報活動などのためにポスター・チラシ・作品集・ホームページに使用場合があります。

● 「写真コンテスト応募用紙」は、社頭及び静岡県写真材料商組合に加盟しているカメラ店でも配布を行います。

● 多く皆様のご応募をお待ちしております。

● 募集部門
部門1…境内に咲く草花・樹木などの自然
部門2…祭事・催物
部門3…野鳥

第22回 最優秀賞
「祈り」 相羽 強



前回受賞者の皆さま

一般の部	最優秀賞／相羽 強
一般の部	優秀賞／杉山 典之
一般の部	優秀賞／杉本 昌弘
一般の部	優秀賞／松野 武
一般の部	特別賞／松浦 嘉人
一般の部	最優秀賞／鈴木 一徳
学生の部	優秀賞／野村 隆成

【応募先】

〒四三七〇二二六

静岡県周知郡森町一宮三九五六一
小國神社「古代の森小國神社
写真コンテスト係」宛

電話 〇五三八一八九七三〇二

神社
検定

第十三回 神社検定ののご案内

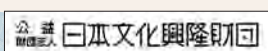
神社検定（神道文化検定）は神社が好き
な方、日本文化をもっと知りたい方のため
の検定です。『神社本庁公認』の本検定は、
より多くの方々に神社についての正しい知
識を学んでいただき、「日本のこころ」を
再発見していただくため神社本庁監修のも
と始まり、今年で十三回目となります。

神道は、日本文化の源です。蘊蓄（うん
ちく）を語りたい方も、ガイドに活用した
い方も、生涯学習のテーマにしたい方も、
神社検定に挑戦することですいつもお参りし
ていた神社の新しい姿が見えてくるはずで
す。検定を通じて神道文化への理解を深め、
日本文化の魅力を次世代へとつないでいく
ため、ぜひこの機会に検定試験を受けてみ
ませんか。

▲第十三回は鷹の爪団とコラボ!!



● 各リンクもぜひ御覧ください ●



試験日時：令和7年6月29日(日)
試験会場：小國神社休憩所二階 研修室
申込期限：令和7年5月30日(金)

受験級と受験方法

初級：オンライン受験のみ
参級：オンライン受験・会場受験
式級：会場受験のみ
壹級：会場受験のみ

勸学祭・氏子入り奉告祭のご案内

新 たな季節、新しいスタートを
神さまと共に

本年の勸学祭は、四月五日(土)十一時より執り行います。氏子地域の小中学校へ入学する方でしたらどなたでも参列できます。ご神前にて学業成就、身体健全、交通安全をお祈りします。

氏子入り奉告祭は、四月十九日(土)午後二時より執り行います。令和六年一月一日から令和六年十二月三十一日までに氏子地域で出生されたお子様、嫁入り、婿入りされた方や移住された皆さまならどなたでもご参列いただけます。ご神前にて家内安全、無病息災のお祈りをいたします。

お申込みは各地区の総代を通して行います。是非、ご参列下さい。



献詠祭／古より伝わる日本人の心

皆 様の和歌・短歌をご神前へ

献詠祭では、有志の皆様より和歌の奉納を賜り、ご神前へと献じています。和歌の歴史は神代に遡り、素戔鳴尊が妻のために詠まれた「八雲立つ 出雲八重垣 妻籠に 八重垣作る その八重垣を」という歌が始まりとされています。

平安時代には、宮中で和歌を通じて感情を伝え合う文化が広まりました。また『万葉集』には、様々な身分の和歌を詠んだ記録が残っています。

言葉には魂が宿ると古来より信じられ、和歌は身分を超えて多くの日本人に受け継がれてきました。多くの献歌をお待ちしています。

● 募集要項 ●

- 兼題 「和合」・「梅」
 - 形式 短歌 (5・7・5・7・7調)
 - 用紙 短冊用紙 (縦36cm×横7cmが目安となります)
- (裏面に住所・氏名を明記の上、歌は楷書でお詠みください。)
- 締切り 4月9日 (水)
 - お申込宛先・問合せ先
〒437-0226
静岡県周智郡森町一宮3956-1
「小國神社祭務部祭儀課献詠係」
TEL (0538) 89-7302

“鈴木正彦記念”

土鈴館 建設中！

日本有数の土鈴コレクションを公開へ

当社では現在、参拝者休憩所南側に「鈴木正彦記念・土鈴館」を建設中です。この施設では、民俗学者であり国文学者としても名高い故・鈴木正彦先生が当社に奉納された、一万個以上の貴重な土鈴を展示いたします。

土鈴について

土鈴は粘土を焼いて作られた音具で、その起源は縄文時代に遡ります。鈴の清らかな音は「神留まる音」ともいわれ、神社での祭儀や神楽舞など、魔除けや厄除けの神具として使われました。江戸時代以降に土鈴は、神社の縁起物や、庶民の間で郷土玩具として広まりました。

土鈴博士 鈴木正彦先生

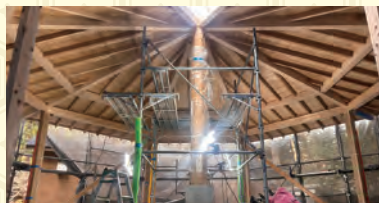
鈴木正彦先生(一九二二年～二〇二〇年)は、國學院大學で折口信夫氏に師事し、後に和洋女子大学で名誉教授を務められました。「土鈴博士」とも称された先生は、生涯を通じて土鈴の収集と研究に情熱を注ぎ、一万数千点もの土鈴を収集され、小國神社に奉納されました。

建設経過のご報告と今後の予定

建設工事は今年一月より着工いたしました。現在、工事は順調に進み、四月には竣工予定です。竣工後は一般公開に向けての準備を進め、小國神社にご参拝の皆さまへの新たな文化施設として、運営してまいります。完成まであと少し。続報は随時お知らせいたしますので、どうぞお楽しみに！



▲建設に先立ち安全祈願祭を執り行いました



桜詣のご案内

令和七年三月二十二日(土)～四月六日(日)の期間、「桜詣」を開催いたします。

期間中は点茶のご奉仕や、居合の奉納演武、FDA（フジドリームエアラインズ）様や(株)静岡木工様によるPRブースの展開、ワークショップや公益社団法人静岡県茶業会議所による静岡茶のPRなど、様々なイベントを予定しています。

また事待池前での尺八演奏、舞殿での箏曲・尺八奉納演奏も予定しています。皆さまお誘い合わせの上、ご参拝いただき、神々が運ぶ季節の移ろいを感じつつ、お楽しみください。

詳細は公式ホームページやインスタグラム上で案内いたしますので、ご確認をお願いいたします。（各リンクは裏表紙に記載しています。）



癒しの齋庭に尺八の風情豊かな音色が響き渡ります



奉納演舞の様子



舞殿での箏曲奉納演奏



(株)静岡木工様による神棚展示ブースの様子



フジドリームエアラインズ様のPRブース



岡部監督撮影の短編映画が、アメリカの映画祭で最優秀短編部門にノミネートされました！

「令和のお屋根替え」に密着したドキュメンタリー映画

この度、「令和のお屋根替え」や当社の祭祀に百日間密着取材し撮影した、岡部監督の短編ドキュメンタリー映画『Connect（邦題…つなぐ）』（二〇二三年イタリアモンテカティーニ国際短編映画祭で「優秀佳作賞」受賞）を再編した作品『Continuations』が、セバストポルドキュメンタリー映画祭、最優秀短編部門にノミネートされました。

この映画祭は、アメリカ・カリフォルニア州セバストポルドで毎年開催される国際的なドキュメンタリー映画祭で、世界中のノンフィクション映画製作者を称える場として知られており、アカデミー賞の予選も兼ねています。

1300年以上の歴史を持つ日本の伝統技術が世界に

日本人としては異例のノミネートで、二〇二〇年にユネスコ無形文化遺産にも登録された『檜皮葺』の伝統職人芸が再び世界から注目される、貴重な機会になると期待されています。

岡部監督は、玉垂六十八号の特別寄稿文で「日本が誇る優れた技術」を多くの人に分かってもらえる映像にしたい」と語っておられました。今回のノミネートはまさに、日本古来の伝統技術が国際的な舞台で評価される機会となり、檜皮葺の「用と美」を兼ね備えた芸術性と文化的意義が広く認められた証と言えます。

なお、同作品は岡部監督のYouTubeチャンネルでもご視聴いただけますので、ぜひご覧ください。



おか べ さとる
岡部 聡
1976(昭和51)年11月17日
静岡県浜松市生まれ
フリーランスの映像ディレクター





夏越大祓式・茅の輪くぐり神事のご案内



「清々しく、残りの半年を過ごせるように祈りを込めて」

大祓式「全員参加型のお祓い神事」

大祓式は、日常生活で知らず知らずに積もった罪や穢れを祓い清め、身も心も清らかに次の半年間を過ごすための神事です。

大祓式は年に二度行われ、六月の大祓は「夏越大祓式」、十二月の大祓は「師走大祓式」と呼ばれます。特に夏越大祓は、「水無月の夏越の祓する人は千歳の命のふというなり」ともいわれ、無病息災を祈るための茅の輪くぐりが行われます。



日時

六月三十日 午後三時より（引き続き、「茅の輪くぐり神事」をおこないます）

場所

小國神社 社務所前庭
・茅の輪くぐり神事

大きな茅の輪をくぐることで、災厄を取り除き、無病息災を祈願します。
・人形（ひとがた）によるお祓い
身代わりとなる人形に罪や穢れを託し、これを川や海に流して清めます。

参列方法

どなたでもご参列いただけますので、当日時間までにお越しください。
大祓神札をご希望の方は授与所にて人形の授与をしていますので、事前にお申し込みの上、前日までに持参下さい（初穂料：二、〇〇〇円よりご志納）

茅の輪守り

「茅の輪守り」を期間限定授与しております（初穂料：八〇〇円）。五月下旬より授与開始。なくなり次第頒布終了。皆さまのご参拝を心よりお待ちしております。



▲茅の輪守り 初穂料：800円

遠い昔、ススミマという神さまが、高天原から地上に参られ人々の罪やケガレを消し去り、清らかにする方法を教えてくださいました。

なごしのおおはらえ
夏越大祓
6月の晦日
～茅の輪神事～



しわすのおおはらえ
師走大祓
12月の大晦日
～除夜祭～



おおはらえのことば



スペシャルムービー

これからの 行事

7月



宮代神饌田御田植祭(5月25日)



端午祭



5月5日午前11時より斎行いたします。

菖蒲の節句とも言われ、お子様の健やかな成長を祈るお祭りです。祭典後は邪気を祓う菖蒲とよもぎの葉を授与いたします。



勸学祭

4月5日午前11時から斎行いたします。

「勸学」とは「学問を奨励する」という意味で、新しく小中学校に入学する子どもがよく学び、事故や病気などに遭わず心身健全に成長することを祈願します。



毎月1日・18日午前10時より

月次祭

毎月1日と18日の午前10時から執り行います。

月次祭では、神様に日々の感謝を捧げ、国家国民の安泰と繁栄を祈ります。ご参列はどなたでも可能です。当日、社務所受付でお申し出ください。

5月

皐月

- 1日 月次祭 (午前10時)
- 1日 一宮祖霊社月次祭 (午前11時)
- 5日 端午祭 (午前11時)
- 6日 本宮山青葉祭 (午前11時)
- 18日 月次祭 (午前10時)
- 25日 宮代神饌田御田植祭 (午前11時)
- 下旬 一宮花しょうぶ園開園

6月

水無月

- 1日 月次祭 (午前10時)
- 1日 花菖蒲園開園奉告祭 (午前10時)
- 1日 一宮祖霊社月次祭 (午前11時)
- 6日 本宮山月次祭 (午前10時)
- 18日 月次祭 (午前10時)
- 21日 御田植祭 (午前10時)
- 24日 甲子祭 (午前10時)
- 30日 夏越大祓式 (午後 3時)

7月

文月

- 1日 月次祭 (午前10時)
- 1日 一宮祖霊社月次祭 (午前11時)
- 6日 本宮山月次祭 (午前10時)
- 18日 月次祭 (午前10時)
- 31日 愛宕神社例祭 (午前10時)



小國神社の 祭典・

4月～

令和7年6月30日(月)午後3時より

夏越大祓式

6月30日午後3時より斎行いたします。
半年に一度、日常生活の中で犯した罪や過ち、心身の穢れを人形に託して川や海に流し、祓い清める神事です。引続き茅の輪くぐり神事を行い、無病息災を祈ります。どなたでもご参列できます。半年の罪穢れを祓い、身も心も清々しい気持ちで新たな季節をお迎えください。

小國神社 おおはらえのことば

検索

スペシャルムービー

～古の祝詞 大祓詞への誘い～

4月

うづき
卯月

- | | | |
|-----|----------------|------------|
| 1日 | 月次祭 | (午前10時) |
| 1日 | 一宮祖霊社月次祭 | (午前11時) |
| 3日 | 神武天皇祭遙拝式 | (午前10時) |
| 5日 | 勸学祭 | (午前11時) |
| 6日 | 本宮山月次祭 | (午前10時) |
| 8日 | 杉祭 | (午前10時) |
| 8日 | 全国一宮等合殿社例祭 | (午前10時30分) |
| 15日 | 献茶祭(茶商組合) | (午前 9時30分) |
| 16日 | 垢籬祭 | (午前11時) |
| 17日 | 前日祭 | (午前10時) |
| 17日 | 舞揃 | (午後 2時) |
| 18日 | 例祭 | (午前10時) |
| 19日 | 献詠祭 | (午前10時) |
| 19日 | 古式十二段舞楽奉奏 | (午後 1時30分) |
| 19日 | 氏子入り奉告祭 | (午後 2時) |
| 20日 | 古式十二段舞楽奉奏 | (午前10時50分) |
| 20日 | 神幸祭・神子舞奉奏・勅使行列 | (午後 2時) |
| 20日 | 献茶祭(手揉み保存会) | (午後 4時) |
| 25日 | 甲子祭 | (午前10時) |
| 29日 | 昭和祭 | (午前10時) |



一宮祖霊社 月次祭

毎月1日に御霊の平安をお祈りしています。奉斎会入会のご案内、永代祭祀、神葬祭については公式HPをご覧ください。

神葬祭と祖霊祭HP



本宮山青葉祭

5月6日午前11時より斎行いたします。

本宮山の新緑が鮮やかで美しい季節です。どなたでもご参列できます。是非、ご登拝され大神様のご加護をお受けください。



大神様へ感謝の真心を伝える

日々の感謝を伝え、
ともに喜びを分かち合う

例祭期間のご案内

今年の例祭期間は四月十六日(水)末社塩井神社の垢離祭(神職・舞楽人が身を清める塩水を汲むお祭り)の斎行にはじまり、十七日(木)には前日祭、十八日(金)の例祭を迎え、十九日(土)午前十時五十分から古式十二段舞楽奉奏、二十日(日)午後二時から神幸祭を斎行します。

大神様のもとに地域の人々が集まり、日々の感謝を申し上げ、共に喜びを分かち合う、大切なお祝いの期間です。

氏子崇敬者の皆様におかれましては、年に一度のこの期間に是非、ご家族でご参拝ください。



令和七年四月十八日

例祭の斎行

例祭とは

大神様へ捧ぐ日々の感謝

神社にとって最も重要な祭祀で、通常は年に一度執り行われます。その神社やご祭神によって特別に由緒あるお祭りや、俗に例大祭とも称されます。例祭の期日は神社によって様々で、ご祭神に関わりの深い日や、神社の創建の日など、その神社にゆかりの深い日があてられます。当社では、ご祭神「大己貴命」が本宮山に鎮まったと伝わる由緒ある日です。

稚児行列・お稚児さん募集

小 國大神様と一緒に行列をなして ご加護をいただきますよう

四月二十日(日)午後二時より神幸祭(神輿渡御)にあわせ稚児行列を行います。

古くから、稚児は神さまに近い清浄な存在として、多くの神事において重要な役割を果たしてきました。

お子さまの健全な成長に感謝し神さまのご加護をいただき、鮮やかな衣装を身に纏い、一生の記念に残るお稚児さんを体験奉仕されてはいかがでしょうか。

●募集要項●

- 対象者 身長が85cmから145cmまでの男女
- 初穂料(参加費) 5,000円也
- 締切 先着順
- お申込み問合せ先 TEL (0538) 89-7302
『小國神社振興会 お稚児さん係』



令和七年四月十九日、二十日奉奏

一、三〇〇年前から続く

伝統の舞楽



特殊神事芸能 小國神社 古式十二段舞楽



▲九番 陵王

古式十二段舞楽 その歴史

十二段舞楽は、大神様への誠心をもって奉納することを本義とし、毎年四月十八日に近い土・日曜日（本年は十九日・二十日）にほぼ一日をかけて奉奏します。

この日付は、欽明天皇十六年（五五五年）春十八日、本宮山にご神霊が出現したという当社の創建にちなんだものです。また、大宝元年（七〇一年）二月十八日には都から勅使（天皇のお使い）が出向き、現在の社地に里宮を開き、十二段の舞を奉納したことが舞楽の始まりと伝承されています。昭和五十七年一月二十三日文化庁より「重要無形民俗文化財」に指定され現在に至ります。

東洋文化の粋

舞楽は、東洋に発達した古代芸術の代表的なもので、『東洋文化の粋』とも言われています。十二段舞楽の原型となる様々な芸能が渡来してきたのは八世紀初頭、西暦七〇〇年頃と考えられています。

その後、都では盛んに舞楽が奏でられ、平安時代初頭には早くもその黄金期を迎え、十二・十三世紀にそれらが地方に伝播したと学術的には考えられています。

しかしながら、当社への舞楽の伝来は八世紀初頭と早く、都と当社の関係性の深さを伺わせます。そして、当社の舞楽の細部には、中央で失われたとされている所作が部分的に残っていることからその古さがわかります。

同時に、その古の形が現在まで伝承されていることに古式十二段舞楽の独自性があります。



七番 安摩▲



八番 二の舞▲

奉納演目

●令和七年四月十九日(土)
午後二時より奉奏(試奏)

●令和七年四月二十日(日)
午前十時五十分より奉奏

- | | | |
|------|------|--------|
| 一 番 | 連舞 | (子ども舞) |
| 二 番 | 色香 | (大人舞) |
| 三 番 | 蝶の舞 | (子ども舞) |
| 四 番 | 鳥の舞 | (子ども舞) |
| 五 番 | 太平楽 | (子ども舞) |
| 六 番 | 新まつく | (子ども舞) |
| 七 番 | 安摩 | (大人舞) |
| 八 番 | 二の舞 | (大人舞) |
| 九 番 | 陵王 | (大人舞) |
| 十 番 | 抜頭 | (子ども舞) |
| 十一 番 | 納蘇利 | (大人舞) |
| 十二 番 | 獅子 | (大人舞) |

演目の詳しい解説は

小國神社 十二段舞楽

検索

いのめ詣で、いのめ守りのご案内 四社を巡ってご加護をいただく

遠江国（遠州地方・静岡県西部地域）に鎮座する秋葉山本宮秋葉神社、井伊谷宮、五社神社諏訪神社、そして小國神社の四社を巡り集める「いのめ詣でお守り」を授与しています。

「猪目」とは、日本古来から使われている図柄で、「ハート」によく似ています。「ハート」を逆さにすると「猪目」になります。その名の通り、猪の目に由来し、災除けや福を招く護符の意味合いが込められています。

「いのめ」は、社殿建築に必ずと言っていいほど使われ、例えば屋根の合わさった場所や、社殿の飾り金具（木のつなぎ目を隠す金属）の装飾などによく見られ、ご社殿を守る聖なる印の一つです。

四社を巡拝し、各地の歴史を楽しみながら、小さな「いのめ木札お守り」を授かり、それぞれの神さまの御神徳をいただいた開運招福・福德円満の「いのめ木札お守り」を完成させてください。

小さい手のひらサイズでストラップも付いているので、そのまま持ち歩くのはもちろん、神棚や玄関、お気に入りの場所などにお祀りください。



開運招福・福德円満いのめ守り▲
（初穂料：500円）



いのめ守りと台座（初穂料：1,000円）▲

さいなん よけまもり 災難除守に新色が登場しました

この度新しく紫色のお守りを奉製いたしました

災難除守とは

小國神社のご祭神大己貴命が根堅州国で、須佐之男命から与えられた試練の中の、「へびのむろ・はちのむろ」の故事（古事記に記載）に由来するお守りです。

その逸話の中に、「須勢理毘賣命より授かった比禮（御布）を三度振ったところ、へびや、はちからの災難を逃れ、その試練を乗り越えた末に大己貴命と須勢理毘賣命が契りを交わした。」という故事があります。

この故事にちなみ、比禮（御布）を使い、現在も結婚式などで使われる伝統的な帯結び『立て矢結び』を参考にして、災難除のお守りとして奉製いたしました。

身につけていただくことはもちろん、玄関やデスクなどにも置くことができる「置き守り」です。皆様の健やかな日々を応援するお守りとして心を込めて奉製しています。（県内で特別奉製）

お守りは授与所にて頒布しておりますので、大神様のご加護をお受けいただければ幸いです。



初穂料：各2,000円



カバン等につけても華やかなお守りです

氏子内に卵かけご飯専門店

「卵縁」がオープン！

あの〆森のうこっけい〆をふんだんに味わえるランチ

明神通り振興会会員高橋恵美子様が経営するうこっけい苑の、卵かけご飯ランチ専門店「卵縁くらんえん」をご紹介します。

お店で使われる烏骨鶏の卵は、毎月の当社月次祭に大神様へお供えされるもので、それと同品質の卵を使った鮮度抜群で絶品の「卵かけごはん」が楽しめます。

代表の高橋さんは、〆医食同源〆の考えに基づき、「明治天皇が愛した烏骨鶏卵のおいしさを知っていたら、同時に体に良い食事を取ること、おいしさで心を癒やし、その栄養価で体を労ってもらいたい。小國神社に参拝に来られた方にも食べていただき、健康になるお手伝いができたら。」と語られました。

ご参拝の折にはぜひ足をお運びいただき、こころから味わえない〆森のうこっけい〆をお楽しみ下さい。



烏骨鶏の卵かけご飯大盛セット▲

新生児選名・命名について

生を受け、生を伝える 「人の一生」

様々な節目を迎えるとき、神さまへ「感謝」と「ご奉告」を行うことは、古来より受け継がれた日本の文化です。

当社では、日本の伝統文化に則した新生児にふさわしい名前を選名いたします。

また、ご家族で考えられたお名前候補の中からご相談の上、選名いたします。

お名前が決定の後、お子様の無事成長と一生の幸せをご神前でお祈りし、お神札、朱印を押印した命名書を授与しております。

初穂料 一〇、〇〇〇円也

命名

令和六年十二月一日
令和七年二月二十八日

桑原 羽菜	掛川市	高橋 理杜	浜松市
石寄 芽生	袋井市	久保 陽暉	袋井市
長浦 羽花	菊川市	岩崎 央征	浜松市
高木 都羽	森町	落合 柚斗	菊川市
鈴木 愛菜	磐田市	山本 紗菜	袋井市
宮野 吟	島根県		



お申し込み方法など詳しくは、小國神社 選名・命名奉告で検索

小國神社 選名・命名奉告

検索

当社で命名奉告をされた皆様には
5月5日の端午祭へご案内いたします▶

神社を知れば日本がわかる “まつりの国、日本”



イラスト:小國神社ものがたり
作:たたら なおき

里宮 (さとみや)

里宮は山宮 (やまみや) ともよばれ、山の頂や中腹、その麓の里にあることが多いといわれています。では、なぜ里宮というのか。その定義については諸説ありますが、一例として、山岳信仰と関わりがある「遙拝所」としての里宮についてご紹介します。

当社の歴史を遡ってみると、欽明天皇の御代16年(555年)に本宮山(奥磐戸神社)に御神霊が鎮まり人々が祭祀をはじめたとされ、そこから約6キロメー

トル離れた現在地の地へ社殿を造営したといわれています。このように、山の頂に奥宮を構え、その麓の村々に里宮が設けられている神社は各地にうかがうことができます。

古くは遙拝所には神殿はなく拝殿があるのみで、礼拝には略式の登拝の意味があったようです。

山は神の鎮まる場所として崇拝の対象となり、様々な変遷を経て人々の間で受け継がれてきました。

小國神社公式・神棚の里ECサイトのご案内

ご家庭に神棚・神具を
感謝と祈りの暮らしをお届けします

「小國神社公式 神棚の里ECサイト」では、伝統的な神棚から現代の住空間に調和するモダンなデザインまで、幅広いラインナップで取り揃えています。和室・洋室を問わずどんな空間にも自然に馴染む洗練されたデザインが特徴で、新築や開店、人生の節目にふさわしい神棚セットや盛り塩、しめ縄、縁起物なども豊富にご用意しています。

また、古くなった神棚を丁寧にお祓いし、焼納するサービスも承っております。遠方にお住まいの方でも、ご自宅から簡単にご利用いただけますので、詳しくは左記のQRコードからご確認ください。

ご家庭に「感謝」と「祈り」
の場を整える機会に、ぜひご活用ください。



小國神社公式
神棚の里
ECサイト



公式HP・SNSのご紹介

小國神社
公式Webサイト
(Domestic)



小國神社
公式Webサイト
(Overseas)



小國神社
公式Instagram



◇辞令交付◇

禰 宜 打田 雅臣

小國神社権宮司に任ずる

(令和七年二月十八日付)

権禰宜 亀山 幸志

小國神社禰宜に任ずる

(令和七年二月十八日付)

権禰宜 村松 芳博

小國神社禰宜に任ずる

願により職を免ずる

神社本庁

小國神社参事に任ずる

(令和六年十二月二十六日付)

小國神社

新体制のもと、職員一同、
神慮を畏み、宮司を輔け、
祭祀の厳修とご神徳の発揚
に精励致す所存です。

今後とも倍旧のご指導ご
鞭撻を賜りますようお願い
申し上げます。

神社本庁

小國神社

神社本庁

小國神社

神社本庁

編集後記

玉垂七十一号をお届けいたします。

まだまだ寒暖差のある日々ですが、ご神域は少しずつ春の兆しを見せています。昨年二月に日台友好の架け橋として、台湾から里帰りし祖霊社参道沿いに植樹された、『昭和天皇台湾行啓ゆかりの寒緋桜(台湾原種)』が、しっかりと根を張り、美しい花を咲かせていました。

寒緋桜は、一重・円筒形の花が下向きに咲きます。他品種よりも一足先に咲くことで知られ、寒い時期から濃紫紅色の花をつけることから、この名がつけられました。当社におきまして、昭和天皇ゆかりの寒緋桜がいち早く春の訪れを教えてくれます。

植樹から初めての春を迎えましたが、ご神域に咲く河津桜やソメイヨシノとはまた違った趣きがあり、南国らしい華やかな咲き姿に心湧き立つ思いです。この桜がこれから大きく成長していくように、日台の友好関係も一層深まっていくことを願ってやみません。

現在、四月十八日の例祭に向けて、準備が本格化しています。大神様のご加護に感謝し、祭祀の厳修はもとより、この美しいご神域を次世代へ繋いでゆけるよう不断的努力を続けてまいります。



イラスト…
小國神社明神通り縁結び公式キャラクター
「つち君(上)」「つち姫(下)」